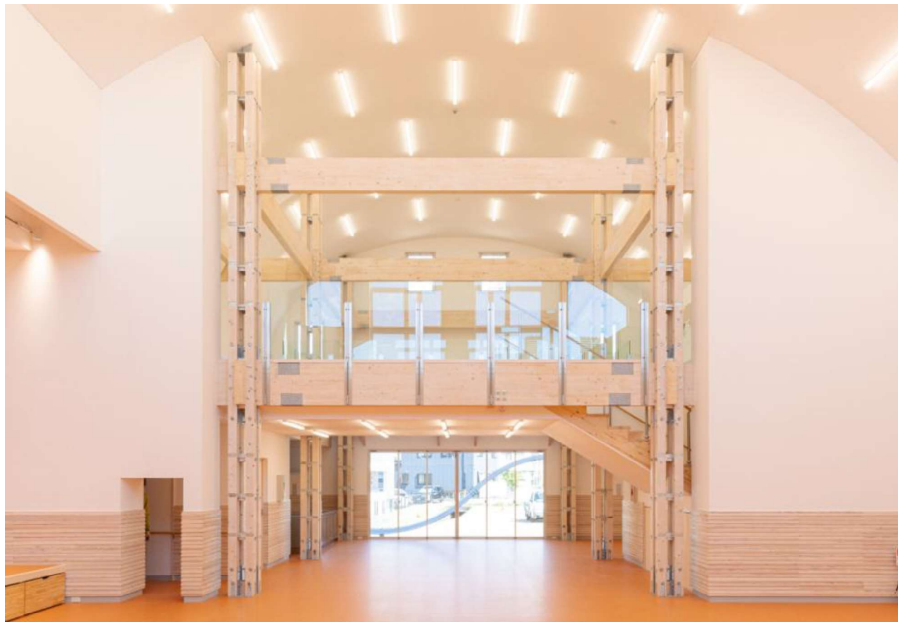




基本情報

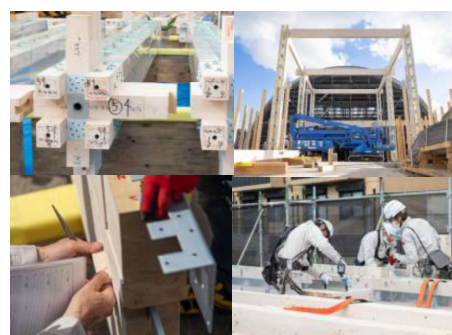
施主	社会福祉法人保城福祉会	兵庫県姫路市
設計者	近未来建築社会実装機構株式会社	大阪府大阪市
施工者	但南建設株式会社	兵庫県朝来市
所在地	兵庫県姫路市保城381-1	
用途	こども園遊戯棟	
主要構造	コルゲート鋼板構造、 ^{いちゅう} 囲柱ラーメン木構造、在来軸組	
地域区分	その他の地域	
耐火等の要件	その他の建築物	
延床面積	401 m ²	
階数	地上2階	
木材使用量	29.31 m ³	
活用した補助金	森林・林業対策事業 県産材需要拡大施設等整備事業(新技術活用施設支援タイプ)	
主な使用樹種	ヒノキ・スギ	

姫路保城さくらんぼこども園

住宅地にある子ども園でも 子どもたちがのびのびと遊ぶことができ
木のぬくもりが感じられる全天候型の遊戯棟

施設概要

既存のこども園の目の前に建てられた全天候型の遊戯棟です。近年、園の周辺に住宅が多く建ち始め、苦情が寄せられる度に音の制限をしてきましたが、大きな声を出させてあげたい、音楽のある行事をしたい、子どもたちをもっとのびのびと遊ばせたいなどの園長の長年の夢が形となりました。外観はコルゲートと呼ばれるシェル状の波型鋼板で覆われ、それ自体が構造体となっている遊戯棟と、内部の木造が構造となりコルゲートを支えている地域交流棟があります。設計は建築家の遠藤秀平氏、遠藤あおい氏ご夫妻によるもの。囲柱ラーメン木構造の2階建てを初めて採用し、子どもたちの目にも肌にもやさしい木の内装となりました。金属の外観と内観の木造のギャップが印象的で、開放感があり、丈夫な構造の近未来的な建物です。



- 1
- 2
- 3
- 4

1 波形の大きいコルゲート3型(韓国製・日本では1型2型のみ製造)を使用しています。コルゲート建築の特徴であるアーチの形状に沿って、木造の形を合わせていきます。今回はこどもが遊ぶ場所ということから、無垢の木材を建物内部にふんだんに使用するデザインとし、木の香り、ぬくもりを感じさせる空間となりました。色は副園長のお好みで白を基調としています。
 2 屋根・壁一体の自立する約3.6mm厚(溶融亜鉛鍍金)のコルゲート鋼板の構造体が大きな空間を囲い込み、雨・風を防ぎます。コルゲート構造と囲柱ラーメン木構造を組み合わせるにあたり、木造と鋼板の接合に専用のファスナーを使用して、コルゲートの寸法精度を維持したまま木造を組み込むことに成功しました。梁に開けた穴のピッチに合わせて、コルゲート鋼板を正確にセットしていきました。
 3 今回の建築が囲柱ラーメン木構造の初の2階建て物件です。柱は通し柱です。柱の長さが変わっても、通常サイズの建て方と同様に、高所作業車を使って、梁を柱と柱の間に落とし、スパン精度を保つシステムを再認識しました。現地では、姫路の大工さん(モクハウス)に協力を仰ぎました。
 4 6mを超える柱でも、囲柱なら座屈に強く構造的に成立します。120mm角のひのき製材4本で組み上げた囲柱が、吹抜けで印象的にポリウム感を抑えながら立ち、視線を上へ上へといざないます。柱の構成、仕口の構成、梁の継手の構成など、組み上げるための詳細な部分に及ぶ計画を、施工計画と共に考えてきた構法ならではのと言えます。